

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2021年3月5日

NPO ARTSWORKS

NPO ARTSWORKS、
ミュージック&アートフェスティバル、「MEET IN TOKYO」を開催。
-スティーヴ・ライヒ生誕85年を記念した REICH85 “COUNTERPOINT”からスタート-



NPO ARTSWORKS（東京都 代表理事：加藤訓子）は、パーカッショニスト加藤訓子とアートディレクター山崎晴太郎が創るミュージック&アートフェスティバル「MEET IN TOKYO」を開催します。ジャンルや国、その他のバウンダリーを一切排した形で強烈な個性が集まってフェスティバルを実施したらどうい化学反応が起こるのか、という素朴な好奇心に端を発した本プロジェクトは、世界とTOKYOを繋ぐアートプラットフォームコンセプトとして運用していきます。世界の様々な芸術家や先端芸術へアクセスする加藤訓子が、現代の芸術界において最も重要かつ強烈な個性を持つアーティストをクロスジャンルで各国より選出。日本を代表するアートディレクターの山崎晴太郎が、アーティストとしての参加と合わせて、プロジェクトのクリエイティブディレクターを兼任。コロナ禍の2021年、現代音楽の巨匠スティーヴ・ライヒ85歳を記念した「ライヒ85」を皮切りに、TOKYOから、世界へ向けて発信していきます。

【プロジェクト概要】

MEET IN TOKYO – 公式ウェブサイト (<https://meet-in-tokyo.com>)

【2021年開催概要】

■MEET IN TOKYO vol.1 REICH85 "COUNTERPOINT"

ライヒ 85 を記念し、全盛期に作曲されたカウンターポイント全曲オリジナル版と加藤訓子のパーカッションバージョン全曲に山崎晴太郎がライヒのカウンターポイントシリーズにインスピレーションを受け創作したビデオインスタレーションを披露する。当日の様子はライブに加え、オンライン配信予定。（全曲ライヒ許諾・オフィシャルアレンジメント）

PROGRAM

Six Marimbas Counterpoint、Electric Counterpoint、New York Counterpoint、Vermont Counterpoint

COUNTERPOINT ORIGINAL / カウンターポイント全曲オリジナルバージョン

Music : Steve Reich | スティーヴ・ライヒ、Percussion : Kuniko Kato | 加藤訓子、Guitar : Norio Sato | 佐藤紀雄、Clarinet : Takashi Yamane | 山根孝司、Flute : Dogen Kinowaki | 木ノ脇道元、

COUNTER POINT ARRANGEMENT / カウンターポイント全曲パーカッションバージョン

Music : Steve Reich | スティーヴ・ライヒ、Percussion : Kuniko Kato | 加藤訓子、Video Installation : Seitaro Yamazaki | 山崎晴太郎

■開催日：2021年3月31日（水） ■会場：KIWA TENNOZ ■協賛：LINN・GVIDO・OTTAVA 他
■参加アーティスト：・加藤訓子（パーカッション）・佐藤紀雄（ギター）・山根孝司（クラリネット）・木ノ脇道元（フルート）・山崎晴太郎（ビデオインスタレーション） ■主催：企画制作：特定非営利活動法人 芸術文化ワークス ■助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 ■協力：寺田倉庫株式会社・KIWA TENNOZ ■協賛：LINN、GVIDO、OTTAVA 他 ■アーティストックディレクター：加藤訓子 クリエイティブディレクター：山崎晴太郎 ■事業制作：芸術文化ワークス事務局 ■音響空間デザイン：寒河江勇志 ■美術・映像：セイタロウデザイン ■機材・制作補助：kuniko kato arts project ■テクニカルサポート：ファーム株式会社、パール楽器製造株式会社、アダムス、Premia Partners LLC.

MEET IN TOKYO vol.2 "EUR ASIA" 「アジア～ヨーロッパへ」(仮)

■参加アーティスト：イリヤン・チャン（作曲・独/韓）・ホン・ユウ（デグン）・菊池奈緒子（箏）・加藤訓子（アーティストックディレクター、パーカッション）・キム・ウンシク（チャング）他

MEET IN TOKYO vol.3 “UPCOMING &INTL.” 「日本のヤングアーティスト+インターナショナルアーティストが集う」(仮)

■参加アーティスト：加藤訓子（パーカッション）・Nuno Aroso（パーカッション）・加藤和也（サクソフォン）・丸山里佳（ソプラノ）・inc. パーカッショニスト・山崎晴太郎（インスタレーション）他

MEET IN TOKYO vol.4 REICH85 ”PHASE” (仮)

作曲されてから 50 年の月日が経っても今なお新しいドラミング、ライヒの全盛期の傑作ピアノフェイズとドラミングの映像コラボレーション。

■参加アーティスト：加藤訓子（パーカッション）・須藤崇樹（映像）・山田晋平（映像）・寒河江勇志（サウンドデザイン）・山崎晴太郎（インスタレーション）他

【Meet in TOKYO 主要アーティスト】



加藤訓子 KUNIKO KATO / パーカッショニスト

愛知県豊橋市出身。桐朋学園大学研究科修了後に渡欧。蘭・ロッテルダム音楽院を首席で卒業。サイ

トウキネンオーケストラ、アンサンブル・イクトウスなどへ参加後、ソロ活動を開始。2011 年にスティーヴ・ライヒの代表作を打楽器へ編曲したソロ作『kunikoplaysreich』が話題を呼び、サントリー芸術財団より第十二回佐治敬三賞を受賞。2013 年の『カントウス』が MPCJ 音楽賞最優秀録音

賞を受賞。若手プロ育成を目的にアーティストインキュベーション・プロジェクト inc. を始動させる。2018 年にダンスプロジェクト “DOPE” を始動。同年に『ドラミング』を発表。第 73 回文化庁芸術祭優秀賞他受賞歴多数。英国スコットランドの高音質で知られる世界的レーベル「LINN」から CD を出す唯一の日本人アーティスト。パール楽器・アダムス社（蘭）グローバルエンドーサー。



山崎晴太郎 SEITARO YAMAZAKI / アートディレクター・アーティスト

株式会社セイトロウデザイン代表。横浜市出身。立教大学卒、京都芸術大学芸術修士。企業・サービスのデザインブランディングを中心に、グラフィック、WEB、空間、プロダクトと多様なチャネルのアートディレクション・デザインワークを手がける。2017 年よりアート活動を開始。ペインティングやインスタレーションを国内外で発表。グッドデザイン賞金賞、アジアデザイン賞、IF デザイン賞、JCD DESIGN AWARD、14th Arte Laguna

Prize など国内外のデザイン・アート関連の受賞多数。各種団体主催のデザイン賞審査委員や省庁の有識者会議検討委員を歴任。FM ヨコハマ「文化百貨店」（毎週日曜 2430-2500）メインパーソナリティ。東京 2020 組織委員会スポーツプレゼンテーション・クリエイティブアドバイザー。

【当法人概要】

日本で最も古い歴史を持つ芸術文化NPOとして、意欲的芸術創造活動を持続的に実施することで、高度な舞台芸術の創造、地域の芸術文化振興、芸術の国際交流、及び次世代人材育成に寄与することを目的としています。

所在地：東京都板橋区大山東町19-1 FM10 ラ・アクション102

代表者：代表理事 加藤訓子

URL：<https://npo-artsworks.org>

【本件に関するお問合せ先】

NPO ARTSWORKS 広報担当

電話：080-5075-5038 メールアドレス：info@npo-artsworks.org

